

～津田沼キャンパス内の温熱環境調査～

文責：橋北・河野・松井

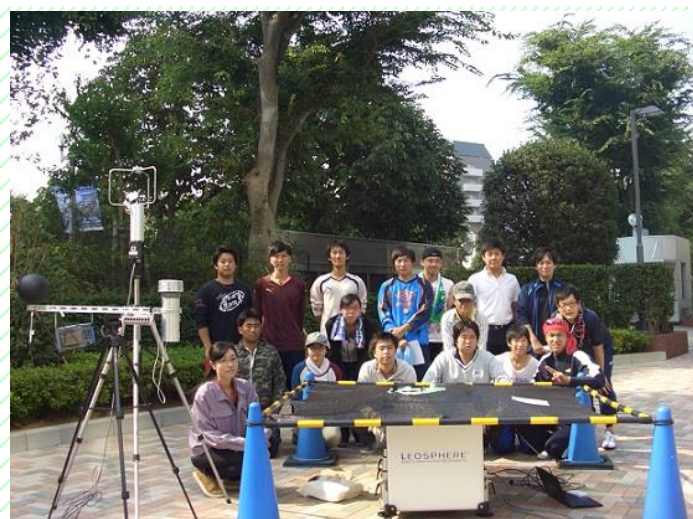
2015年8月6～7日に千葉工業大学津田沼キャンパスにて温熱環境調査を実施しました。調査日は両日とも日中の気温が35℃を超える真夏日でした。この調査の目的は、地表面性状が異なる箇所での熱環境場の相違を把握することです。また、今年からキャンパス内に保育園ができたため、以下に示す気象要素を地上65cmと120cmで測定し、子供目線での熱中症リスクを評価することも目的の一つとしました。



気温・湿度・気圧・風速・黒球温度を測定し（写真左）、これらの結果から熱中症リスク評価を行いました。上空（地上から500m程度）の風も同時に観測し、上空風と地上風との関連性についても評価します（写真中央・右）。

4種類（水辺・タイル・アスファルト・土）の環境別に観測し、それぞれの熱中症リスクについて調べました。

現在はまだ解析中ですが、最も気温差があったアスファルトと土の地上65cmでは、アスファルトのほうが1.5℃ほど気温が高くなる傾向にありました。



調査は研究室メンバー全員で実施しました。2日間とても暑く大変でしたが無事終わりました。皆さんお疲れ様でした。